

令和5年度第3回 埼玉県川越比企地域医療構想調整会議 議事録

12月1日（金）18:30～20:17
埼玉県坂戸保健所 2階 多目的ホール
（併せてオンライン（Zoom）により開催）

開会、会議の成立の確認（35名中30名の委員の出席（代理出席を含む））、令和5年度新任委員の氏名紹介、委員の出席状況の確認、埼玉県坂戸保健所長からの挨拶の後、丸山会長が議長として議事を進めた。なお、会議は公開となり、傍聴（3名）については、許可された。

3 議題等

（1）令和4年度病床機能報告・外来機能報告結果について

（議長） それでは議事に入ります。まず、（1）令和4年度病床機能報告外来機能報告結果について、埼玉県保健医療政策課から説明をお願いします。

- ・ 議題等（1）の説明の前に、令和5年度第2回埼玉県地域医療構想推進会議の主な意見について、保健医療政策課工藤主査が配布資料（資料7）に基づき説明した。
- ・ 引き続き議題等（1）について、保健医療政策課利根川主査が配布資料（資料1-1～1-4、参考資料1-1、資料1-5、参考資料1-2の順）に基づき説明した。

（議長） ありがとうございます。それではただいま説明につきまして、何か御質問、御意見ございませんでしょうか。

（意見等なし）

3 議題等

(2) 病床整備の進捗状況について

(議長) 特にないようですので続きまして、議題(2)病床整備の進捗状況について、埼玉県医療整備課から説明をお願いいたします。

- ・ 医療整備課小峰主幹が配布資料(資料2)に基づき説明した。

(議長) どうも御説明ありがとうございます。ただいまの御説明につきまして何か御質問、御意見ございませんか。

(意見等なし)

3 議題等

(3) 病院整備計画の公募について

(議長) 特にありませんですね。それでは続きまして、(3)病院整備計画の公募について、に入ります。はじめに医療整備課から、御説明をお願いいたします。

(小峰主幹) 医療整備課の小峰でございます。続いて議題(3)今年度の病床公募について御説明いたします。該当する資料は資料3-1から3-8、さらに参考資料2-1から2-5、資料は膨大でございますが、まず資料3-1を御覧ください。

昨年度の公募の再公募として今年度は南部、県央、川越比企の3圏域で再公募を実施しております。9月、10月の2か月間、病院整備計画の計画をお受けいたしました。表の一番下のとおり、公募対象病床、全県で計298床に対しまして、6医療機関さんから計189床の病院整備計画の申し出をいただきました。

3 圏域とも公募対象病床数には達しておりませんが、今回は再公募であること、また、第7次保健医療計画が今年度をもって終了となることから、公募期間の延長だったり、さらなる募集というのは行わない予定でございます。

続いて資料3-2をご覧ください。応募をいただきました病院整備計画を一覧表にしてございます。川越比企医療圏では4医療機関さんから157床の応募をいただきました。応募いただきました4医療機関さんには、この後、病床整備計画のプレゼンを行っていただきます。

続いて資料3-3をご覧ください。本日から審査意見書作成までの本日以降の流れを記載しております。病床の公募にあたりまして、委員の皆様には本日も含め、3つのことをお願いしたいと考えております。基本的には昨年度の公募と一緒にございます。一つ目は、本日の調整会議です。こちらの資料ですと①の部分に該当いたします。この後、応募医療機関さんから、整備計画に関するプレゼンを行っていただきますので、その後質問をお願いいたします。二つ目は、質問票の作成、提出でございます。資料ですと②の部分に該当いたします。本日時間の都合で質問できなかった場合や、後から確認したい点が生じた場合への対応でございます。各委員の皆様からの質問票につきましては、事務局であります坂戸保健所が取りまとめまして応募医療機関さんにお送りいたします。応募医療機関からの回答は全委員さんに共有をさせていただきます。三つ目は審査意見書の作成提出でございます。資料ですと⑥の部分です。本日のプレゼンや質疑内容を参考にさせていただいてですね、審査意見書を作成していただきます。今年度の公募につきましては、計画の妥当性、計画の実現性の二項目の審査項目より御評価をいただきたいと考えております。

続いて資料3-4、こちらは病院整備計画の概要書でございます。この後、各医療機関さんからこの概要書に基づいて整備計画の御説明をいただきます。さらに資料3-5でございますが、こちらは本調整会議に先立って開催されました、坂戸鶴ヶ島の地区部会、川越地区部会の開催状況をまとめたものでございます。後程地区部会長でおられる、丸山先生、斎藤先生から御報告をいただきます。

そのあとで参考資料の2-1から2-5というのがあるんですけども、資料が多いですので細かくは御説明せずに大体こういうものですよというのを簡単に御紹介いたします。参考資料2-1というのは、基礎データ集でございます。医療圏ごとの

病床数だったり、人口10万人当たりの医療機関数とか医師数とかですね、そういった基本的なデータを記載してございます。続いて参考資料2-2、こちらは公募対象とする病床機能のデータ集でございます。高度専門医療、救急医療、在宅医療の状況でしたり、各医療圏におけます、回復期リハ病床、地域包括ケア病床の状況表などを記載しております。参考資料2-3及び2-4は病床機能報告の結果でございます。参考資料2-3は先ほど保健医療政策課の説明のありました、令和4年度の病床機能報告の結果、参考資料2-4は、令和3年度の定量基準分析の結果でございます。参考資料2-5、こちら圏域別のフェイスシートでございます。医療圏ごとの基本データや地域医療提供体制の推進に係る課題、2025年に向けて圏域が目指す姿が記載しております。後程ですね後日審査意見書を作成していただくにあたって、今御紹介させていただいた参考資料こちらでもですね御参考にさせていただきながら、御評価をしていただければと考えております。そのための参考資料として配布をさせていただいております。

最後に資料の3-6から3-8というのがあるんですけども、調整会議後の審査意見書作成までのスケジュールでしたり、質問表審査意見書の様式でございます。こちらはですね後程事務局であります坂戸保健所から御説明をさせていただきます。とりあえずこちらからの御説明は以上でございます。

(議長) はい、ありがとうございます。かなり内容が、多かったわけですが、ただいまの御説明につきまして御意見、何かございませんか。

(意見等なし)

(議長) これもまた、ないようですので、続きまして、各地区部会の開催状況について報告します。今回応募のあった各計画について、十分な意見交換の時間を確保するため、該当する坂戸鶴ヶ島地区及び川越地区において、医師会、病院、市、町、保健所選出、委員により地区部会を開催いたしました。

まず、最初に坂戸鶴ヶ島地区部会の開催状況につきまして、私の方から御報告申し上げます。資料は3-5でございます。坂戸鶴ヶ島地区部会、11月14日火曜日、18時30分より坂戸保健所にて、出席者13名で開催いたしました。

(2)の内容としましては、病院整備計画についての各応募者からの説明及び質疑応答です。では報告申し上げます。

まず、医療法人若葉病院につきまして、各委員からの質問ですが、まず意見として、受け入れの待機をさせなければならない状況であることは伝わっており、8床の増床はとてもありがたい。10～12人待機しているのであれば、今回の計画はよいのではないか。それから質問で、大体平均で待機日数はどのくらいであるかと、大体1ヶ月くらいである。空いた時はもちろん入れるが、それにはやっぱり幅があります、ということでございました。②人材確保について質問で、医師1人、看護師2人とのことだが、介護員を集めるのは難しいのではないか、回答でハローワークを使いながら充足している、それほど苦勞していない状況である。③の意見で、患者の受け入れについて、大学病院では、転院が大変難しい方がおり、なかなか難しいかもしれないが、ぜひ受け入れに取り組んでいただきたい。それから質問、認知症の高い合併しているような患者にはどのような対応をしているのか、該当認知症の専門のナースを1人は配属しているが、特に受け入れに関しては、認知症の患者は区別していない。また医療区分3に関しては24時間監視の患者が多いが、中心静脈をやっている患者さんも多いのか、24時間常時監視の患者さんほどではないが、中心静脈栄養を行う患者さんもいる。

続きまして、医療法人敬友会菅野病院について、①人材確保についての質問、慢性期病床で昨年度10床、今年度8床と段階的に増やしている。離職率は非常に少ないが看護師の増員がスムーズにいつているのか。離職はあるが、他の施設に行ってまた帰ってくる方も多い。コミュニケーションを取り、本音で話し合っ
て楽しい職場を師長、事務長とも意識をしている。職員は、自分自身の自慢であるということでございます。意見で、医療従事者の確保時期まで4年くらいあるが、介護員の確保は難しく、その辺が一番のポイントになるのではないかという御意見がありました。②退院について質問、終末期を担う医療機関であるため、大体は死亡退院だと思うが、どのくらい退院されるのか。回答、去年は月平均3人、今年は月平均2人となっている。③診療について質問、医療区分3はどれくらいか、回答、先月は9割である。④患者の受け入れについて意見、重症の患者を取っていただいて大変助かっている、頑張ってください。質問、呼吸器をつけた患者の受け入れは受け入れ状況はどうか。回答、埼玉医大国際医療セ

ンター、総合医療センターから受け入れている。今後もぜひ連携をさせていただきたい。こういった内容でございました。

続きまして、川越の齊藤先生、地区部会の報告よろしくお願いたします。

(齊藤委員) はい。次のページになりますが、11月の17日に川越市の保健所で12名の参加で行いました。2か所の病院から応募がありましたが、医療法人からですね一つは社団富家会、仮称で富家療養病院。これ療養病床をの病院を作られるというお話でございまして、富家病院から後程説明があると思いますが、富家、今あるふじみ野になるのかな、富家病院との前の道を歩道を隔てたそのところがもう、川越地区になるので、こちらで応募されたということでございます。質問事項としては人材確保の質問がありました。御説明の中で外国人の雇用で何とか重きを置いてるという話でしたが、それで何とか上がるのかということでしたが、雇用だけではなくて現在の既存病棟、ふじみ野のですね、病棟からの移動も検討しているということでした。それに対して意見としては各市内において人材確保の問題は大変センシティブであり、他の医療機関との調整をしっかりとやって欲しいという意見が出ました。それについてはご了解いただきました。それから患者受け入れについてですが、意見としては急性期病院の立場ではリハビリによる回復の見込みがない高齢者あるいは認知症の方、透析が必要な方、そういう方々の受け入れについては、なかなか選択肢が狭まるんですけども、このふじみ野市のように行政の境からも連携して受けていただいているけれども、それでもスムーズにいかないところもあるので、今回の増床については助かるというお話、それから透析を含めた慢性期について見取る見てもらえることはメリットがあると。これ、別に病床的には問題ないんじゃないかということ。それから地域医療への協力については川越の医師会に入会される予定かということで、地域貢献の業務がいろいろあるけどもそれについてどうかという、御質問がありましたが、回答は、お手伝いさせていただきたいと、何なりと申しつけさせていただきたいというお話でした。それから事業所の規制については、市街化調整区域なのでこのあたりが開発部門との調整が今後必要になるだろうということで市、こちらで了解が得られてもですね、そこが一つ、何でしょうハードルだということで川越市からの次のページになりますが、川越市からの補足もありまし

た。並行して開発許可の手続きをしていくということです。

続いてもう1か所、医療法人しらすき仮称しらすき川越病院です。こちら皆さん御承知のように急性期病棟で以前に公募されましたが、今回は地域包括地域包括ケア病棟で応募をされました。今回のことについてはですね、入院患者さんがどうしても、急性期の時期を超えるというような人も出てくるのでそういう人たちの対応も含めると地域包括ケア病棟が良いだろうということで応募されました。今回はそういう中で意見としてはですね、川越地区の回復期の不足を補うとか、急性期ではないということもあって申請に関しては問題ないという意見や、それから人材確保については、以前はドクターの数が本当にそれでいいのかというお話でしたが、回答としては来年度の入職の予定が2名、あと久喜の方のクリニックからも1名いらっしゃるということでした。それから、あとはそうですね、人材確保について努力して欲しいと。それから地域医療への協力し、地域医療構想ですから、地域医療への協力が一番大事だと、いうふうに思いますが、その中で医師会の業務についてどう考えてるかという質問に対しては、現在ですね地域医療の災害担当それから調査委員会等の出席もしてくださっているのと、コロナ関係の病床も積極的に或いはワクチン接種もやってくださっていたということもありますが、今後は夜間診療所の業務、或いは看護学校の業務等にも積極的に関わってくださるという回答でした。意見としては医師会活動に積極的に協力してくださっているので、今後も期待したいという意見がありました。それから、こちらですね、2種市街化調整区域、これ今ある診療所、診療所の場合はいいんですが病院になると、これはまた調整区域ですので開発部門との調整が必要だということで、これも市の方から先ほどの富家病院と同じようにですね、これから並行してやっていく必要があるだろうということでございました。以上です。

(議長) どうも斎藤先生ありがとうございました。ただいま2地区の報告につきまして何か御質問、御意見ございますか。なさそうかな、はい。特に御意見はなさそうなんですけど、ちょっと教えて欲しいんですけども、調整区域におけるその病床の許可っていうのは、割とスムーズに許可が下りるものなのではないでしょうか。その辺ちょっと、またこの部会とは関係ないんですけども。ちょっと教えていただ

きたいんですけど。行政の方、どなたかお答えできますか。

(齊藤委員) 野口さんが手挙げてらっしゃいます。

(議長) 川越市の野口さん、よろしく申し上げます。

(川越市) 川越市の保健医療推進課の野口と申します。本日はよろしくお願いたします。開発許可の関係について御説明させていただくんですけども、開発許可につきましては、ちょっと我々は保健医療を扱っておりますので、ちょっと別の部署になるんですが、聞いたお話の中でいきますと、市街化調整区域の場合には、開発許可の手続きが必要になるという形になりまして、その場合には、開発審査会というところに諮る必要があるというふうにされています。ただ、なかなか市街化調整区域というのは市街化を抑制する区域になりますので、必要性をですね、しっかりと把握した上でちょっと議論をさせていただきたいというようなことを開発許可の方からは言われておりますので、今回、病院整備計画の方は、通った段階で、そちらの方、開発審査会の方に諮って、そこで審査をするというような手続きになるというふうにお聞きしております。我々といたしましては、保健医療を扱う部門でございますので、病院整備計画が認められた段階ですすね、地域にとって必要な医療だということで、開発部門の方には申し伝えたいというふうに考えております。以上です。

(議長) ありがとうございます。その他御意見ございませんですね。

3 議題等

(3) 病院整備計画の公募について

① 医療法人若葉会（若葉病院）

(議長) それでは続きまして、病院整備計画に応募した病院から説明をお願いいたします。まず、医療法人若葉会から病院整備計画の概要は8分以内で、お願いいたします。

- ◆ 医療法人若葉会若葉病院の甘井院長が配布資料（資料 3-4 W1～W8）に基づき説明をした。

（議長） どうもありがとうございます。ただいまの説明し、何か御質問、御意見ございますか。

- ※ この間、出席委員から資料の誤りについて指摘あり。事務局にて訂正の上で公開することとした。

（その他の意見等なし）

3 議題等

（3）病院整備計画の公募について

② 医療法人社団敬悠会（菅野病院）

（議長） どうもありがとうございました。続きまして、菅野病院さん、医療法人社団敬悠会から病院整備計画の概要、8分以内で、よろしく願いいたします。

- ◆ 医療法人敬友会菅野病院の菅野院長による挨拶後、同院西牧事務長が配布資料（資料 3-4 K1～K9）に基づき説明をした。

（議長） どうもありがとうございます。それではただいまの御説明について何か御意見、御質問ございましたら、挙手なり、はい。

（意見等なし）

（議長） ないようなので、どうもありがとうございました。

3 議題等

(3) 病院整備計画の公募について

③ 医療法人富家会（（仮）富家療養病院）

(議長) 続きますので、医療法人富家会から病院整備計画の概要8分以内で御説明をお願いいたします。

- ◆ 医療法人社団富家会の富家理事長が配布資料（資料3-4 F1～F8）に基づき説明をした。

(議長) どうもご説明ありがとうございました。ただいまの御説明につきまして何か御質問、御意見ございますか。

(意見等なし)

(議長) ないようですので、どうもありがとうございました。

3 議題等

(3) 病院整備計画の公募について

④ 医療法人しらさき（（仮）しらさき川越病院）

(議長) 続きますので、医療法人しらさきから病院整備計画の概要8分以内でよろしくをお願いいたします。

- ◆ しらさき川越クリニックの白崎院長が配布資料（資料3-4 S1～S10）に基づき説明をした。

(議長) どうも御説明ありがとうございました。ただいまの御説明につきまして何か御質問、御意見ございませんか。

(意見等なし)

(議長) それでは、以上もちまして4件の御説明をいただいたわけですが、その他に病院整備計画の攻防に公募につきまして、全体を通して、皆さんから何か御意見、御質問、あればお受けしたいと思うんですがいかがでしょうか。

(意見等なし)

(議長) 大丈夫のようですね。それでは、今回の公募にあたりその前に応募医療機関の皆様は会議からの退出をお願いいたします。

(病院整備計画応募医療機関の出席者が全員退出)

(議長) また、続けさせていただきます。今回の公募にあたり参考資料2-1から2-5のとおり、関連データをご用意しております。委員の皆様には事前にメールで配付しておりますがこれらの資料につきまして、何か御意見、御発言あればお願いいたします。特にございませんか。。

(意見等なし)

(議長) 何もないようなので、今後御審査いただくにあたって、参考資料として御活用ください。続きまして病院整備計画の審査に関する今後の予定について、事務局から説明をお願いいたします。

- ・ 事務局である坂戸保健所深澤担当課長が配布資料（資料 3-6～3-8）に基づき説明した。

(議長) ただいまの説明、何か御質問ありますか。

(意見等なし)

3 議題等

(4) 医療機関対応方針の協議・検証について

(議長) 特にないようですので、続きまして次の議事に移ります。(4) 医療機関対応方針の協議・検証について、埼玉県保健医療政策課から説明をお願いいたします。

- ・ 保健医療政策課工藤主査が配布資料(資料4-1及び4-2)に基づき説明した。

(議長) ただいまの御説明について何か御質問、御意見ございませんですか。

(意見等なし)

3 議題等

(5) 医師の働き方改革に係る特例水準の指定について

(議長) ないようですので次に進みます。次に、(5) 医師の働き方改革に関わる、特例水準の指定について、埼玉県医療人材課から説明をお願いいたします。

- ・ 医療整備課関根主査が配布資料(資料5)に基づき説明した。

(議長) どうもありがとうございました。これについて何か御質問、御意見ございませんか。、ちょっとここで、埼玉医大の篠塚先生がお見えになっているので。この申請に関して何か問題点とか、先生の方で県の方に言っておきたいことなんかあれあれば、御意見を賜りたいと思います。

(篠塚委員) はい、ありがとうございます。3病院で大分前からいろんな各科でデータを取って、できればほとんどほぼほぼAで行ければいいんですが、やはりどうしてもそれでは960時間はちょっと収まらない。全部の診療科の、全部知ってるわけではないんですけども、やはりそういう救急ですとか救命、それから夜間の緊急の募集、というような患者さんが多い診療科の一部の医師に関してはやはり、ちょっと難しいと。5年後にはいずれはAにしないとイケませんので、そこは同時に持っていくという取り組みを早めにやるということで、こういう申請になった次第であります。以上です。

(議長) どうもありがとうございます。また、受ける立場としての、中央病院さん、またせつかくお見えの市民病院さん、何かこういったことで、御意見あれば賜りたいと思います。

(土屋委員) ちょっと本題とはですね、ずれるんですが、来年の4月以降ですね宿直許可が出てる病院かどうかっていうのは、確かアンケートか何かあったと思うんですけども、派遣する病院が変わるかどうかってのはちょっとこの辺、興味あって、いかがでしょう。

(篠塚委員) 3病院でかなり前からそういうあたりから、大学のいろんな審議とか会議とかやってますけども、特にそこに関して何か変わるという大きく変わるということはないと思います。ただ、できるだけ宿日直許可を取った、外勤先とか取っていただければそれは業務時間に入りませんので、いいんですけども、何か埼玉医大で外勤が減るとか、あるいは行き先が変わるといような議論は今のところ私の知る限りではありません。

(議長) 杉山先生いかがですか。

(杉山委員) 東松山市民病院の杉山です。当院は一応A水準でいけると、いうふうに考えてます。常勤医のですね、勤務時間全部調べました。あと時間外の時間も全部調べて、あとは宿直の申請いたしましてですね、その辺すべてクリアされましたので、多分A水準でいけるという状況でございます。ただ今後、救急をうちはもうこれ頑張っってやろうというふうに考えてますので、そうした時にどうなるのかちょっと心配なところがありますけれど、現時点ではA水準でいけるというふうに考えてます。

(議長) どうもありがとうございました。

3 議題等

(6) 地域保健医療計画及び介護保険事業（支援）計画における在宅医療・介護サービス等の追加的需要について

(議長) その他に特にはなければ、次の(6)地域保健医療計画及び介護保険事業（支援）計画における在宅医療介護サービス等追加需要について、埼玉県高齢者福祉課から御説明お願いいたします。

- ・ 高齢者福祉課坂主幹が配布資料（資料 6-1 及び 6-2）に基づき説明した。

(議長) ありがとうございました。ただいまの坂さんの説明について何か御質問、御意見ございましたら。

(意見等なし)

(議長) 特にないようですので、続きまして(7)に、その他に移ります。何かその他に関してございますか。

(事務局) 本日は特にございません。

(議長) ありがとうございます。それでは予定していた議事等は以上となりますがここで、地域医療構想アドバイザーの廣澤先生に、本日の議事等を踏まえて、今後について御助言いただければと思います。廣澤先生、よろしく願いいたします。

(廣澤アドバイザー) はい、皆さんこんばんは。アドバイザーの廣澤です。丸山先生どうも御苦労さまでした。いつも調整会議は議題も多くてですね、タイトですが、スムーズな進行御苦労様でした。はい、地域医療構想の推進会議はですね、11月15日に開催いたしました。齊藤先生にも参加していただきましたが、先ほどのありましたような意見が出てますので、参考にいただければと思います。今回もありましたような病床機能報告、外来機能報告等も今後もできるだけ100%に近づけていただけるよう、よろしく願いいたします。また埼玉県は定量基準分析がありますが、川越比企では、高度急性期、急性期は比較的十分でいろいろ意見もありますが、回復期は不足ですが現場ではあんまりそういう不足感はないというようなこともありました。また、今回病院整備計画の公募ということで、207床のうち157の応募がありました。4病院からの説明がありました。それぞれ地区部会でですね、いろいろ御協議いただいていると思いますが、今後もあれ、引き続き質問、回答、そして取りまとめ、そして審査意見書の取りまとめに御協力いただければと思います。また医師の働き方改革では、B水準、連携B水準が出ましたが、先ほど御意見もありましたが、宿日直許可を取っていただけたところはなるべく取っていただいて、上限規制にかからないようによろしく願いできればと思います。議題(6)で第8次の地域保健医療計画と、第9期の介護保険事業支援計画における在宅医療介護サービス等の追加的需要ということでありましたが、在宅医療は先生方も御存知のように、今後も必

要になってきます。埼玉県医師会としましても、在宅医療塾を行って、できるだけ多くの方に在宅医療に参画していただけるようにしていただければと思います。他県と比べますとですね、埼玉県で1人の人が在宅患者さんを見てる数は多いようですので、できるだけ多くの先生方が参加していただければと思います。また、今後も引き続き、地域で御協議いただいて話し合いを進めて、地域の医療の分化連携を進めていただければと思います。私からは以上であります。

(議長) 廣澤先生、どうもありがとうございます。それでは、県及び事務局におかれましては本日の各委員及び各地域医療構想アドバイザーの御意見を踏まえ、政策決定等にお役立てくださるようによろしくお願いいたします。それではこれで議事を終了させていただきます。円滑な議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。それで事務局に進行をお返しいたします。

- ・ 事務局から、第4回調整会議の開催時期（令和6年2月から3月の予定）を案内した上で、閉会を宣言した。